

防災基本指針 行動マニュアル



【湖南広域消防局 新防災指導車（グラドン号）車両デザイン画】

平成27年4月

湖南広域消防局 防災基本指針

編集・発行

湖南広域消防局 防災指導課

滋賀県栗東市小柿三丁目1番1号

電話 077-552-1234

湖南広域消防局

目 次

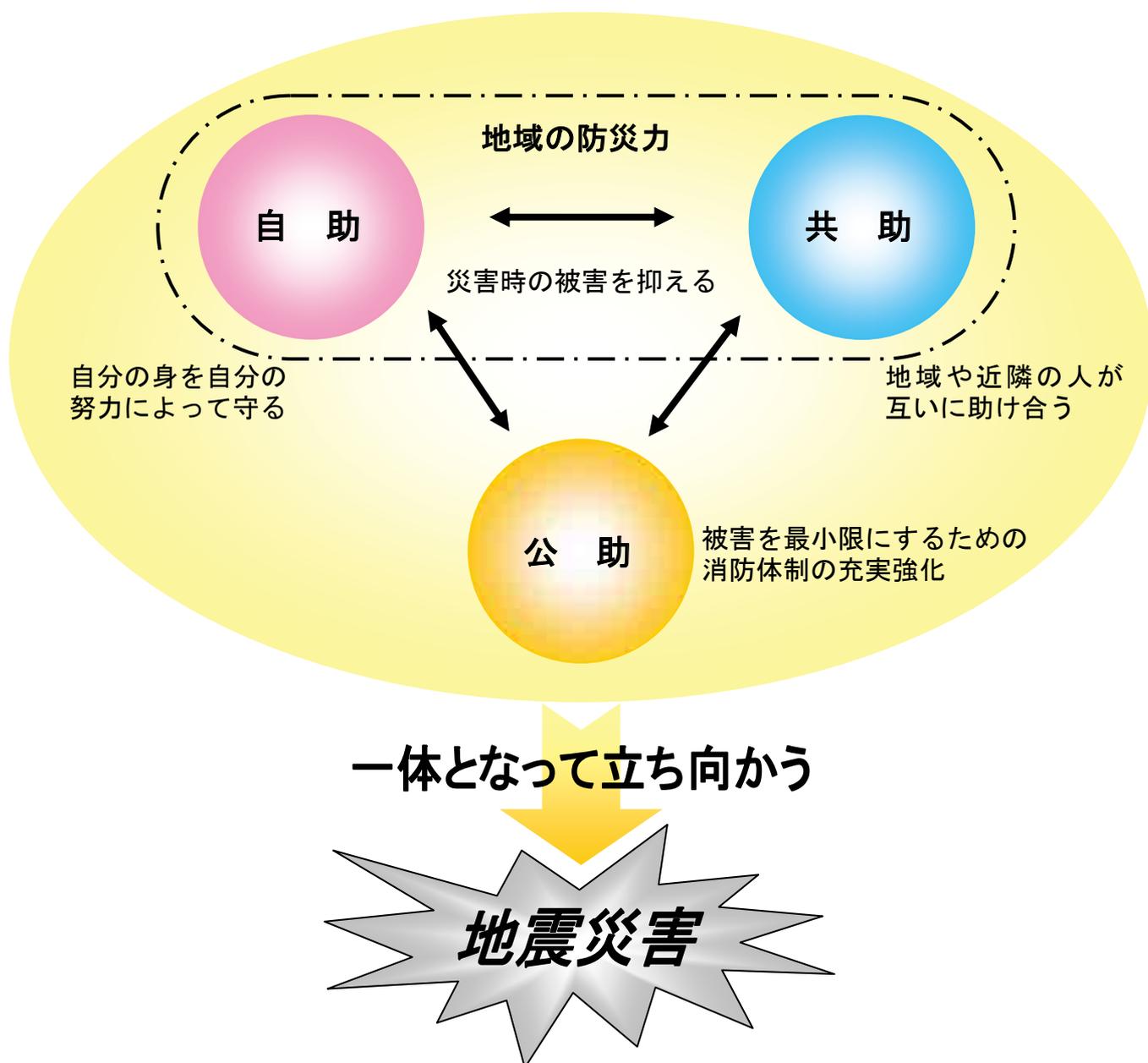
1	はじめに	1
	（1）行動マニュアル策定の目的	
	（2）指針策定の体系	
2	市民の役割と責務	3
	（1）自 助	
	（2）共 助	
3	自主防災組織の役割と責務	12
4	事業者の役割と責務	14
	（1）自 助	
	（2）共 助	
5	資料編	24

1 はじめに

行動マニュアル策定の目的

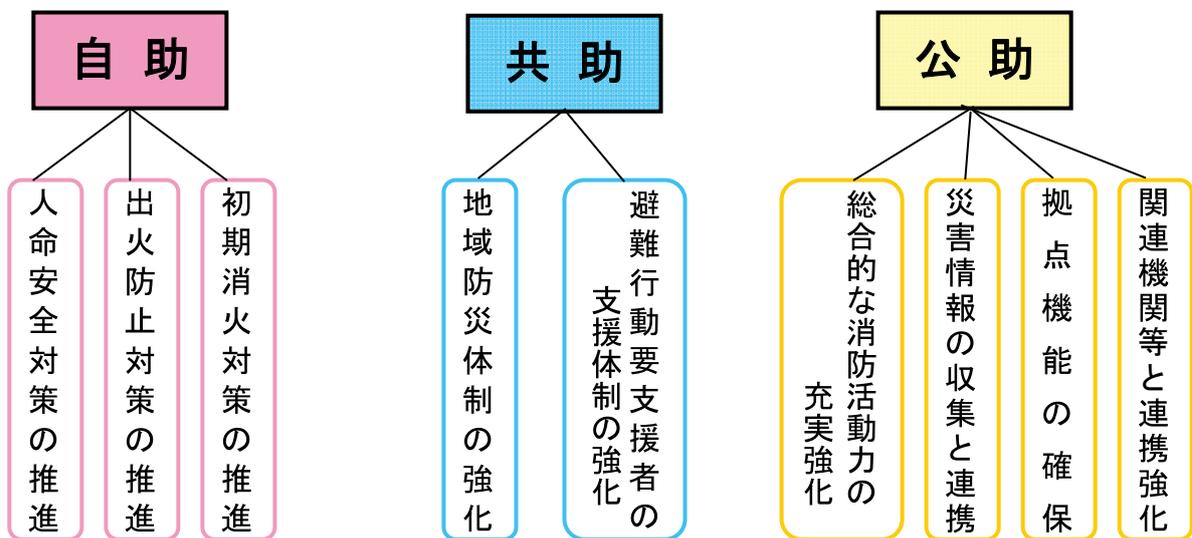
地震や近年の異常気象による災害に、私たちは、いつ、どこで遭遇するかわかりません。私たちの地域でも、琵琶湖西岸断層帯地震などによる倒壊家屋件数・死者数等の被害想定が出されているところであり、日本各地で発生した大震災を他人事、過去の出来事とせず、教訓を生かして被害を軽減するための対策を講じていく必要があります。

湖南広域消防局では、管轄する草津市、守山市、栗東市及び野洲市の防災力を一層向上し、琵琶湖西岸断層帯地震などの災害への備えを固め直すため、消防の立場からみた『人命安全対策』として、市民、地域、事業者、消防局がそれぞれの役割と責務を定めた、湖南広域消防局防災基本指針を策定し、その内容をより分かりやすく示した『防災基本指針行動マニュアル』を作成しました。

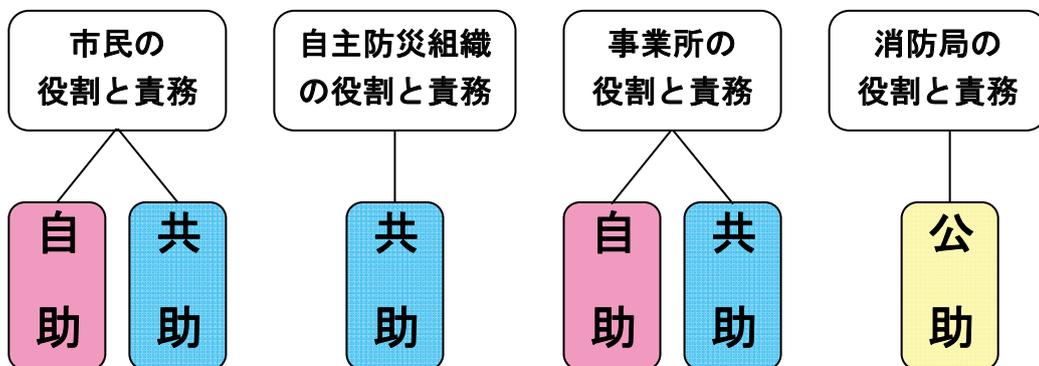


湖南広域消防局 防災基本指針

基本理念と基本的対策



行動マニュアル



2 市民の役割と責務

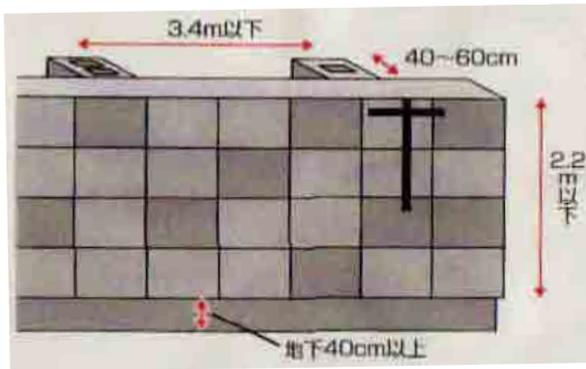
1 自助 一人命安全対策・出火防止対策・初期消火対策

1-1 住宅の安全確保

いつ地震が来ても被害が大きくならないように、自らが居住している建物と地盤を知り、建物等の点検及び補強を行い、日頃から家族や地域ぐるみで対策を立てましょう。

大切な家族や自分の命を守るためには、地震に強い家に住むことが一番です。

そのためには、住んでいる家屋の耐震強度を確認しましょう。各市では耐震診断や耐震改修にかかる費用の一部をサポートされています。一度、市役所にお問い合わせください。



安全なブロック塀の目安

- 傾きやひび割れ、破損箇所はないか。
- 高さが高すぎないか（2.2m以下、ブロック厚さ15cm以上）。
- 鉄筋は縦筋と横筋がきちんと固定されて入っているか。
- 基礎コンクリート（地下40cm以上埋め込む）はしっかりしているか。
- 支えとなる控え壁は設置されているか（3.4m以下の間隔で設け、40~60cmの長さ確保）。
- すかしブロックや面とりブロックなどの化粧ブロックはできるだけ使用しない。

【できることから地震対策（滋賀県ホームページより）】

1-2 家具等の転倒・落下防止対策

家具類の転倒・物品の落下及び移動防止のための対策をしましょう。

「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を見つけて身を守ることが何よりも大切です。

! point 1

○ 家具等の配置を考える

- ・ 家具類の転倒や移動により部屋の扉が開かなくなることもあるので、避難経路、出入口周辺に転倒、移動し易い家具は置かない様にしましょう。
- ・ 「寝る場所」や「座る場所」には、なるべく家具を置かない。
または、移動してくる方向・場所で寝ない。
- ・ 避難経路をふさがないように配置にしましょう。
- ・ 上記内容で対応できない場合はPoint2へ。



! point 2

○ 背の高いタンスや本棚の転倒を防止する方法

- ・ L字金具等で壁に固定。
- ・ 鎖、ベルト、紐などで固定。
- ・ 天井と家具の間に家具固定棒を入れる。
- ・ 家具の手前側下にビニール樹脂状の板などを挟む。



○ 見落としがちなポイント

- ・ シャンデリアなどの照明器具はチェーンなどで固定する。
- ・ 窓ガラスには飛散防止フィルムを貼る。

※高齢者宅では、家具固定作業

を行うのは困難なので、地域の人々や消防団、親戚や知人、消防署の地域担当者へご相談ください。



1-3 出火防止対策

電気やガスなどは生活に不可欠なものですが、過去の災害では、停電や供給遮断となった後の送電や供給の再開時に、スイッチが入ったままになっている家電や機器から火災が発生しています。

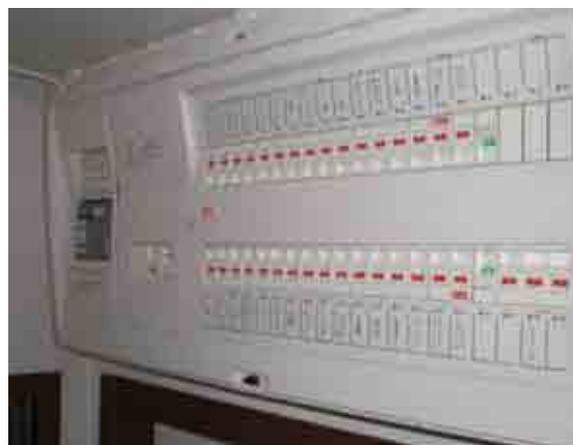
災害時の混乱した状態で、スイッチやブレーカーを切断したり、ガスの元栓を閉めたりして避難することが重要ですが、普段からも次の措置を習慣付けましょう。



! point

- ・コンセントはプラグから抜く習慣を身につけましょう。
- ・ガス器具栓を閉め、元栓も閉める。
- ・プロパンガスはボンベのバルブを閉める。
- ・揺れを感知する感震機能付の分電盤やコンセントなど出火防止機能を備えた器具等の導入も検討する。
- ・周囲の整理整頓をしておく。
- ・適切な場所で使用し、普段から落下物や周囲の可燃物に注意しましょう。

【ガスボンベのバルブ閉】



【感震機能付分電盤】

1-4 初期対応に必要な器具の準備



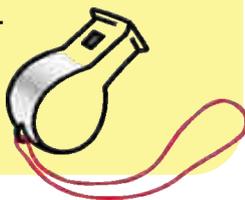
火災の延焼を防止するために消火器や住宅用火災警報器などを設置し、災害時の初期対応や身体の安全確保のために必要な用具や器具の準備をしましょう。

! point

- ・設置義務は有りませんが、住宅用消火器の備えは大切です。
 - ・出火したら、近くの人に大声で知らせ、消火器や水バケツで、火が小さいうちに消しましょう。
 - ※消火器の使い方は、資料編 24 ページをご覧ください。
- ・住宅用火災警報器は、火災の早期発見に有効です。
 - ・平成 21 年 6 月にすべての家庭において設置が義務化され、奏功事例も多数報告されています。
 - ・電池式のタイプは期限ごとに交換が必要です。
 - ※高齢者宅など設置作業が困難な場合は、地域の人々や消防団、親戚や知人、消防署の地域担当者へご相談ください。
- ・地震の際は、家屋の倒壊や家具の転倒により脱出口が塞がれることがありますので、家庭や地域で救出用具を準備しておくことも大切です。

身を守るグッズ

笛、ヘルメット、
防災ずきん、手袋
靴やスリッパ、懐中電灯



パール

地震で家が歪み、ドアが開かなくなったときにドアをこじ開けられる。

救出グッズ

パール、のこぎり、ロープ、
ハンマー、懐中電灯、ナイフ

【応用】

車に積載のジャッキ



ジャッキ

パンタグラフジャッキは倒壊した建物からの脱出や救出に利用できる。

1-5 備蓄品の確保

災害発生時に最初に持ち出すものと、災害復旧までの間、自分で生活するための備蓄品を準備しましょう。

! point

・水や食料品などの備蓄品を従来は3日分程度を備えるよう推奨されてきましたが、東日本大震災では被害の程度が大きく道路などの復旧が遅れ、救援物資が届くのに時間を要したため、教訓を踏まえてできれば1週間分程度は備蓄しておきましょう。

☆ 非常持ち出し品 ー避難場所に行く時にー

懐中電灯	タオル
携帯ラジオ	ポリ袋
ローソク・ライター	トイレトペーパー
乾パン	ウェットティッシュ
飲料水	笛
救急セット・常備薬	現金
万能はさみ	ガムテープ
軍手・手袋	油性マジック、筆記用具
ロープ	防災ずきん（ヘルメット）
レジャーシート	履きもの
簡易トイレ	歯ブラシ
生理用品	紙おむつ



▲ 普段使用しない練炭なども災害時には活用できます

☆ 備蓄品 ー避難場所での生活にー

飲料水（1人1日3リットル）	予備電池
アルファ米	卓上コンロ・ガスボンベ
乾パン	固形燃料
インスタント食品	鍋・やかん
レトルト食品	ラップ
缶詰類	皿、コップ、割り箸、スプーン
切り餅	歯ブラシ
ビスケット、キャンディ、チョコレート	石けん
塩	携帯電話の充電器
衣服	新聞紙
タオル	使い捨てカイロ
毛布	安全ピン
雨具	生理用品や紙おむつ



1-6 適切な避難の確保

避難は、「災害から命を守るための行動」です。

災害時の避難場所及び避難方法の確認や、危険箇所の把握をするために、地域で実施される訓練に参加しましょう。

! point

- ・避難場所は複数覚えておきましょう。
- ・避難場所にたどり着く順路も複数覚えておきましょう。
- ・最悪の想定をした避難訓練に参加しましょう。
- ・高層階からの避難のときエレベーターは使用しないようにしましょう。
- ・避難所への避難だけでなく、家屋内に留って安全を確保することも「避難行動」の一つです。

DIG 訓練



住んでいる地域の地図を広げて、災害発生後の時間経過と共に起こり得る想定への対応を話し合い進めていきます。

自分たちの地域への親しみと認識、地域の危険箇所などを具体的に把握し、災害時あるいは平常時において取るべき行動を整理する訓練です。

シナリオレス 訓練



訓練に参加する人が事前に訓練の内容を知らされないまま行う訓練です。

突然の事故や災害に遭遇した時に、自分自身が普段と違った行動や情報の収集、考えや意思の決定が求められる訓練ですので、後の連携体制の強化である共助に繋がります。

地震による**高層難民**にならないように・・・

「高層難民」とは、エレベーターの停止によって、高層マンションの住民、利用者が行き場を失ってしまうことです。

特に、高齢者は階段を利用して避難しようと思わないのです。

このような高層難民対策として、自宅に簡易トイレや水、食料、懐中電灯などを備蓄しましょう。

また、揺れが大きくなる高層階においては、家具の下敷きになり、挟まれ、身動きが取れなくなる恐れがあります、家具の固定や据付場所を考えておきましょう。

対策を講じた上で、室内に留って安全を確保することも「避難行動」の一つです。



1-7 連絡体制の強化

災害時の家族や地域との連絡先および連絡方法を確認しましょう。

! point

- ・連絡方法や集合場所などを、家族で話し合っておきましょう。
- ・連絡は、遠くの親戚を通じて確認し合うことも決めましょう。
- ・災害用伝言ダイヤル【NTT:171】を活用しましょう。
- ・災害用伝言板を活用しましょう。

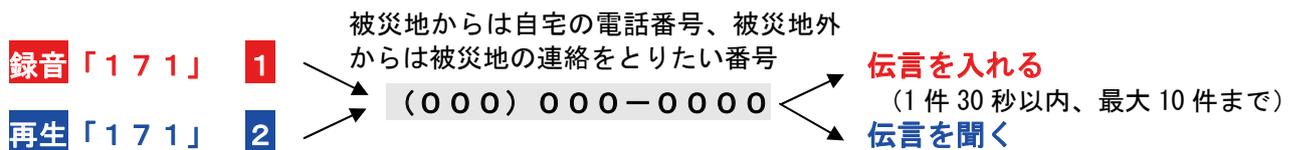
※災害時は、iモード、EZweb、Yahoo!ケータイ!、EMnet、CLUB AIR-EDGE のトップ画面に災害用伝言板の案内が表示されます。

- ・日頃から隣近所の人との声掛けをしましょう。

災害用伝言ダイヤル 「171」を覚えておこう！

※一般電話（プッシュ回線、ダイヤル回線）、公衆電話、携帯電話、PHS等から利用できます。

災害用伝言ダイヤルの使用方法



1-8 日常の防災対策

ラジオや各市が提供する防災情報などで、防災に関する情報収集をしましょう。

! point

- ・居る場所の細かな情報は地元の行政機関から情報を収集しましょう。

【消防お知らせダイヤル ☎ 077-552-5000】

湖南広域消防局管内の災害情報や、消防に関する情報をタイムリーにお伝えします。

【滋賀県・各市の情報】

草津市：安心・安全メール 【kusatsu.kikikanri@emp.ikkr.jp】

守山市：安全・安心メール 【touroku@city-moriyama.jp】

栗東市：防災・防犯情報配信システム 【entry@city-ritto.jp】

野洲市：野洲市災害情報メール配信サービス 【yasu-reg@mlreg.tricorn.net】

滋賀県：滋賀情報サービス：しらがメール 【http://www.pref.shiga-info.jp】

⇒避難情報や地震情報など身の回りの危険に関する情報を電子メールでお知らせします。

滋賀県情報サービス：救急医療ネットしが 【http://www.shiga.iryo-navi.jp】

⇒夜間や休日等における医療機関の診察状況を案内します。

2 共 助 —地域防災体制の強化・避難行動要支援者の支援体制の強化—

2-1 防災対策に関する事業への協力

防火防災を効率的、効果的に進めるには、市民や地域、事業所、行政が一体となった取組みが必要です。災害対策に関する地域や自主防災組織の活動には、協力をしましょう。

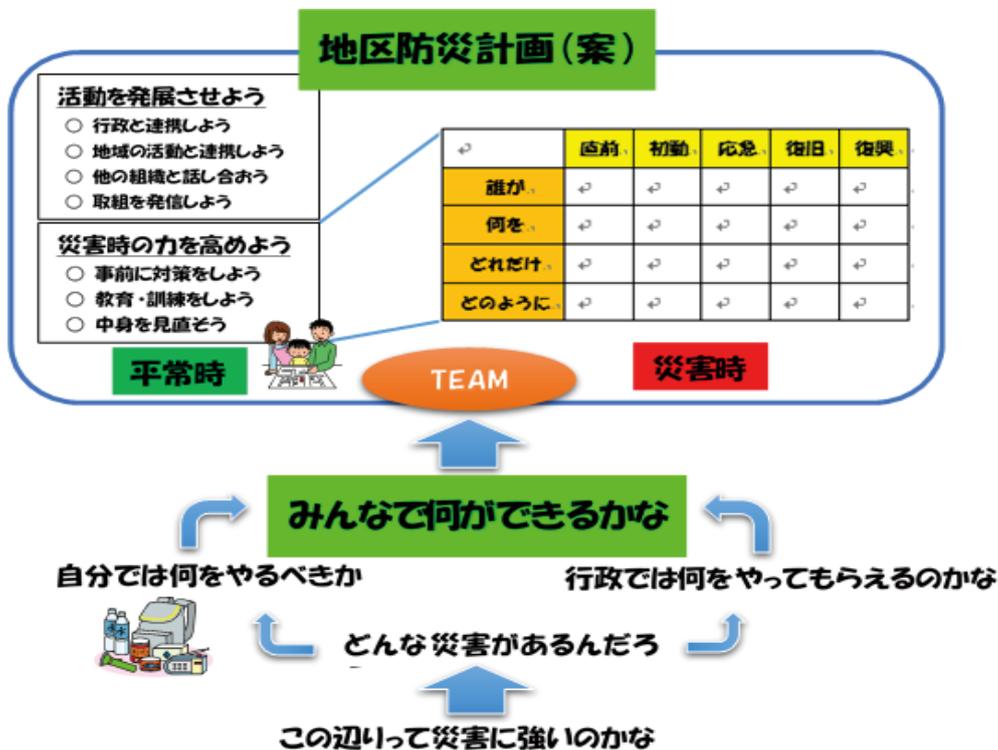
さらに「あなたのまちや高層マンション」で災害が起きたら。そのための準備と災害時の行動計画をみんなで作りましょう。それが地区防災計画です。



【防災計画による総合訓練】

! point

- ・ 地域の特色や災害の種類に応じた対策を考えるため、様々な訓練を体験しましょう。
- ・ 地区防災計画を作成する目的は、地域防災力を高めて、地域コミュニティの維持、特に災害弱者と言われる、子どもや高齢者また障がい者さらには、外国人の居住者とのコミュニティも取り入れ充実・強化することです。
- ・ 災害時に「誰が・何を・どれだけ・どのようにすべきか」を取り入れることが重要です。



【地域コミュニティを維持するプロセス（内閣府ホームページより）】

2-2 自主防災組織の結成と育成強化

お互いの命や身体、財産を災害から守るため、地域ごとに自主防災組織を結成し、隊員の技術や知識を付けるために、基礎的な初動対応から、実践的な防災訓練を重ねて育成をしましょう。

! point

- ・ 湖南広域消防局では、地域担当者が自治会の消防防災の窓口となり、未結成自治会の結成の支援や、訓練等を通じた自主防災組織の育成の支援をしていますので、お気軽にご相談ください。



【消防学校で教育を受ける自衛消防隊】

2-3 避難行動要支援者情報の適正な活用

平成 25 年 6 月に災害対策基本法の一部改正により、避難行動要支援者情報を活用した迅速な人命救助活動を行うことができるようになりました。

福祉担当者や民生委員は、情報を適正に活用するため、消防関係者と連携して、防火防災訪問を実施するなど、避難行動要支援者の把握をしましょう。

! point

- ・ 災害弱者の状況によって必要な支援は異なりますが、まずは助け合いの意識を持ち、要支援者自身も支援を待つだけでなく、自身が行うべき備えも考えておきましょう。
- ・ 防災訓練などを通じて、住民どうし顔の見える関係を築いておきましょう。



【災害弱者や負傷者の避難支援】

3 自主防災組織の役割と責務

1-1 地域単位の防災対策事業の推進

地域の特性に応じた防火防災体制の強化を図るため、消防団と連携した防災訓練を実施するなど、地域連携体制づくりを進めるとともに、住宅密集地では水利を活用した消火活動体制の整備を進めましょう。



【中学生も参加の放水体験】



【消防団員の指導による消火訓練】



【地域ぐるみでバケツリレー】



【地域形態に合わせた水利活用】

! point

- ・地域の災害情報や危険箇所を把握し、災害時に生かせるようにしましょう。
- ・災害弱者や負傷者の支援活動を、地域ぐるみで実施しましょう。
- ・高齢対策に向けた資器材の軽量化や安全管理対策を進めましょう。
- ・住宅用火災警報器が未設置の高齢者宅や障害者宅へは、地域で連携して設置を進めましょう。

☆地域の活動や行事に防災活動を結びつけると、より身近に防災意識を持ってもらう効果が期待できます。

- 地区運動会に防災に関する種目を取り入れましょう。
⇒ バケツリレー、消火器を使った的当て競争、担架を使った搬送リレー など
- 行事を通して、親睦を深めましょう。
⇒ お祭りでのテント張りや、焼きそばなどの屋台が炊き出し訓練に繋がります。

1-2 近隣地域・事業者との連携強化

広域災害の際は、近隣の地域住民・事業者などと連携する必要がありますので、隣接する自治会や学区を単位とする防災訓練に参加しましょう。

※消防訓練実施計画書【例】(34 ページ参照) ただし、各市によって様式が異なりますので、お近くの消防署にご確認ください。



【近隣住民や事業所による防災訓練】

1-3 行政が実施する防災対策事業への参加

D I G 訓練やシナリオレス訓練への取組みの次には、市や消防局が実施する災害対策訓練、避難所の運営支援や負傷者の救出・救護訓練への参加に努めましょう。



【かまどベンチ】



【中学生も参加する防災訓練】

4 事業者の役割と責務

1 自助 —人命安全対策・出火防止対策・初期消火対策—

1-1 施設等の安全確保

大規模地震が発生すると多数の建物や工作物、設備などが倒壊する危険性が高まりますので、いつ地震が起きても被害が大きくなるように、平素から危害防止の観点で従業員や在館者の安全を確保するための点検を行い、不備があった場所は補強・修繕を図りましょう。

! point

◇ 耐震診断を積極的に実施する。

※建築基準法上の新耐震基準以前（昭和 56 年（1981 年））の建物は、「建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成 7 年法律第 123 号）」に基づき耐震診断を行っているか。

◇ 耐震診断を実施した場合は、診断結果に基づき必要な耐震補強などを確実に実施する。

☛耐震診断、耐震補強を実施する際は、高度な知識と技術を必要とすることから専門家に依頼しましょう。

◇ 建築物の老朽度や変形、亀裂に対する点検体制を確保する。

◇ 建築物や工作物の補強手段を構築する。

◇ ガラス窓の位置や割れやすいガラスを確認し、ガラス飛散防止措置を実施する。

◇ 看板や照明器具は、安全性について十分余裕をもった補強を実施する。

☆ 事業所の建築施工図面は、万一の場合の復旧作業のためにも必要なものですから、保管には十分注意しましょう。



【工場内に設置された大型の機械に対する固定と免震装置の設置状況】

1-2 施設等の転倒・落下・移動防止対策

棚類やコピー機、自動販売機などの重量物の転倒、落下、移動や、天井等の落下により、従業員や在館者が挟まれて下敷きにならないよう、また避難のための経路を確保するためにも、転倒、移動、落下の防止措置を行いましょう。

! point

- ・棚類や重量物の転倒及び移動防止の措置をする。
※高層階（概ね 10 階以上）では、大きくゆっくりした揺れにより、棚の転倒や落下に加え、重量物が大きく移動することがあります。
- ・棚類の転倒、落下、移動によるガラスの破損防止を図る。
- ・棚類は、転倒や移動した場合にも避難する経路を塞がないよう、また転倒防止器具が万が一外れても被害を受けにくい配置を心掛ける。
- ・重量物の転倒や移動により、部屋の扉が開かなくなることもあるので、避難経路、出入口周辺に転倒、移動し易いものは置かない。
- ・ロッカーやキャビネットは、不要時に鍵をかけておく。
- ・整理整頓に努め、不要な物品を置かない。



【部品棚の固定と落下防止】



【機械の固定】



【ラックの固定】

1-3 出火防止対策

事業所で使用する危険物や高圧ガス、火気を使用する設備などからの漏洩や出火を防ぐために、設備の本体や周囲の状況について点検し、不備事項を改善するとともに安全措置を行いましょう。

! point

- ・地震の揺れによる危険物のあふれ防止措置を図る。
- ・高架タンク等の落下防止措置を実施する。
- ・薬品類の転倒、落下による発火防止措置を実施する。
- ・送油管などには緩衝装置を取り付ける。
- ・貯蔵量や施設形態を考慮して、土のうや油吸着剤を準備する。
- ・施設外への流出防止のための防油堤、排水溝、油分離槽などの設置と、これらが破損した場合の対応策を構築しておく。
- ・緊急時の危険物の受け入れ体制など、近隣事業所との協力体制を構築しておく。



【緩衝装置と防油堤】

<危険物施設が破損した場合の対応例>

- ・元バルブの閉鎖、ポンプの停止
- ・主電源の停止
- ・各施設・設備の緊急点検及び応急措置
- ・排出機能が停止した場合の、可燃性蒸気の拡散(充満)防止のための室内の窓や出入口の開放要領
- ・吸着剤や乾燥砂等による危険物回収及び可燃性蒸気の拡散防止

! point

- ・火気を使用する設備などが設置されている場所からの出火を防ぐため、周囲の整理、整頓を心掛ける。
- ・地震の揺れを感知する感震機能付の分電盤やコンセントなど、地震動による出火防止機能を備えた器具等の導入を検討する。

☛ 次の表を参考に、点検と出火防止を確実に実施しましょう。

熱源	器具名	出火危険
液体燃料	ボイラー、石油ストーブ、温風暖房器等	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃物の落下 ・破損 ・漏油 ・異常燃焼 ・火源の転倒、落下、移動 ・ガス漏れ ・短絡 ・スパーク引火等
固体燃料	こんろ、乾燥炉、ボイラー等	
気体燃料	ガスコンロ、ガスストーブ ガス湯沸し器、乾燥機等	
電気	電気コンロ、電気ストーブ 電気こたつ、アイロン 電気ポット等	

1-4 初期対応に必要な器具の準備

地震により被害を拡大させるものの一つとして火災があります。基本的には火を出さないことが大切ですが、発生した火災を初期の段階で抑え延焼を防止するため、消火器などの初期消火器具を備え、完全に消し止めることができる技能を習得しましょう。

また、救助や救護活動を効果的、効率的に行うために必要な資機材を準備し、いつでも使用できるようにしておきましょう。

! point

◇ 消火器

- ・確実に使えるように日頃の点検と訓練を実施する。
- ・指定された場所へ設置し、無断で移動してはいけません。

※性能を十分に理解した上で、どのような火災に対して有効であるか、またその操作要領について習得する必要があります。【資料編 24 ページをご覧ください】

◇ 資機材等

- ・容易に持ち出せる位置に設置する。
- ・施設の損壊などに備えて分散した保管をするなど、保管方法を構築しておく。

※資機材の使い方や救出方法を、消防職員の指導により学ぶことも可能です。

<震災に備えた資機材等>

- 懐中電灯・携帯ラジオ
- ヘルメット・手袋・防塵マスク・防塵メガネ
- ジャッキ・のこぎり・バール・スコップ・ロープ・つるはし
ボルトクリッパー・あて木・ハンマー・メガホン・担架・毛布



☆ 主な資機材の活用方法

■ ジャッキ

倒壊した梁や積み重なった棚類など、重い障害物を持ち上げるのに活用できます。

■ のこぎり

一般的に片刃タイプで折り畳み可能なものが使用しやすいと言われています。

■ バール

転倒や落下した障害物をテコの原理で持ち上げたり、先端部を使って障害物の破壊をしたり、ドア等のこじ開けなどにも活用できます。

1-5 従業員に対する備蓄品の確保

地震発生後は、電気、ガス、水道などのライフラインが途絶し、交通機関の停止などで従業員の帰宅ができなくなることも予想されます。従業員や在館者が事業所内に待機できるよう、水、食料品、寝具などを備蓄しましょう。

! point

- ◇ 食料品や飲料水、救急医療品など、期限のあるものについては定期的に入れ替えができるように保管方法や点検方法を構築しておく。
- ◇ 1人あたり概ね1週間分の必要な水、食料、寝具等を準備する。
- ◇ それぞれの事業所の規模や収容人員などに応じた物品を準備する。
- ◇ 建物の損壊などに備えて階やゾーンごとに分散し、すぐ使える場所に保管する。

> 非常用の備蓄品として準備しておく便利なもの

種別	品名
応急手当用品	医薬品：殺菌消毒剤、やけど薬、止血剤 等 救急品：止血帯、包帯、ガーゼ、三角巾、絆創膏 など
救助作業用資機材	ジャッキ、のこぎり、パール、スコップ、担架、毛布 など
非常用物品	懐中電灯、拡声器、ラジオ、電池、ビニール袋、軍手、タオル、防水シート、ヘルメット など
生活必需品	食料品、飲料水 携帯燃料、カセットコンロ、カセットボンベ、鍋 簡易トイレ、生理用品、寝具類（毛布・寝袋 等）など
非常持出し品	重要書類 など

☆ 人命の安全第一という観点から、非常持ち出し品は最小限にし、重要書類などの持ち出しは行わず、耐火金庫等に保管しましょう。



【工場敷地内に設けられた備蓄倉庫】

1-6 従業員や客に対する適切な避難の確保

地域の防災計画や周辺の危険性を把握し、仕事場から避難場所までの一時集合場所、避難経路、移動手段などについて確認を行い、従業員に内容を周知しておきましょう。

! point

- ◇ 事業所周辺地域の危険性を事前にハザードマップなどで把握し、一時集合場所、避難経路については複数考えておく。
- ◇ 移動手段は車両などを使用せずに、徒歩で避難できる計画にする。
- ◇ 災害時の道路状況、地域の被害状況に応じた避難経路を選定する。
- ◇ 地域の防災計画を定期的に確認し、内容の充実を図る。
- ◇ 避難誘導にはメガホン等を活用し、避難者の不安を取り除くように声を掛ける。
- ◇ 10人程度のグループに分かれて、避難者が不安を感じたりパニックに陥ったりしないように、声を掛けながら誘導する。



☆ 避難時の注意点

- ・ 避難する旨の従業員や来訪者への周知・伝達
- ・ 避難者の人数確認、けが人等の把握
- ・ 安全な避難経路と避難場所の選択



【負傷者用階段避難車】



【職員避難用タラップ】



【避難経路図】



1-7 従業員に対する知識・技術・教育及び訓練

災害による被害を最小限に抑えるためには、従業員全員が的確に活動することが必要です。災害対応に関する知識と技術を習得するために教育と訓練を実施し、日頃から各自の役割と取るべき行動を確認、把握しておきましょう。

地震による被害の状況をあらかじめ把握するように努め、事業所の規模に応じた防災計画を定めるとともに、計画的に日頃から応急手当や消火、救助に関する知識や技術の習得を図りましょう。

※消防訓練実施計画書【見本】(35 ページ参照) 詳しくは、お近くの消防署にご確認ください。

! point

- ◇ 訓練を定期的に行う。
- ◇ 近隣の町内会などが行う防災訓練へ積極的に参加する。
- ◇ 訓練は被害想定に基づき、必要な人員、物資、資機材及び活動を実践的な内容で行う。



<訓練の種類と内容例>

- ・消火訓練 ……出火を想定し、消火器や屋内消火栓等の取扱訓練
- ・救急救出救助訓練 ……けが人の救出、応急手当、搬送等の訓練
- ・通報訓練 ……119 番通報訓練 (+放送設備による連絡訓練等)
- ・連絡・召集訓練 ……連絡網による緊急連絡、非常召集訓練
- ・出火防止訓練 ……電源遮断、ガスの供給停止、危険物等の漏洩防止訓練
- ・地震体験訓練 ……起震車(グラドン号)による地震体験訓練
- ・DIG訓練 ……地域の地図を広げて、災害発生後の時間経過と共に起こり得る想定への対応を話し合い進めていきます。事業所周辺の危険箇所などを具体的に把握し、災害時あるいは平常時において取るべき行動を整理する訓練です。
- ・シナリオレス訓練 ……訓練に参加する人が事前に訓練の内容を知らされないまま行う訓練です。突然の事故や災害に遭遇した時に、自分自身が普段と違った行動や情報の収集、考えや意思の決定が求められる訓練ですので、後の連携体制の強化である共助に繋がります。



【消防学校での消火訓練】



【救命訓練】



【社内マニュアル】

1-8 防災情報の収集と伝達

災害時における早く正しい情報収集は、以降の被害軽減に欠かせない重要な要素になりますので、地震や災害の情報取得の手段や伝達方法について、あらかじめ定めておき、速やかに行動できる体制を整備しておきましょう。

! point

☆情報収集に集中しすぎると、身近に迫っている危険に気付かないことがあります。周囲を確認し、危険な場所から避難し自身の安全を確保してから行いましょう。

- ・ テレビ、ラジオなどを活用し、地震の程度、交通機関の運行停止状況など、正確な情報の収集に努めましょう。
- ・ 情報伝達の手段について定め、電話以外の手段も検討し、伝達手段のための電源の確保についても計画しておきましょう。
- ・ 放送設備などにより情報を伝える場合は、動揺や混乱を与えないようにあらかじめ定めた放送文例を使い、落ち着いて放送しましょう。
- ・ 営業時間外（夜間、休日等）に情報を得た場合の連絡手段を定め、あらかじめ任務分担及び参集者を指定しておきましょう。



【社内情報収集】



【災害時幹部職員一斉連絡装置】



【非常放送設備】



【緊急放送用スピーカー】



2 共 助 —地域防災体制の強化・避難行動要支援者の支援体制の強化—

2-1 行政が実施する防災対策事業への協力

日頃から、訓練などの災害対策事業に積極的に協力や参加をし、災害時における共助の体制を育みましょう。

! point

- ・地域の特色や災害の種類に応じた対策を考えるため、様々な訓練をしましょう。
- ・地震災害や火災などの想定や、D i G訓練なども取り入れ、行政、地域と一体となった共助の体制を育みましょう。

2-2 地域の防災対策事業への協力

大規模災害時には、同時多発火災の発生や道路の通行障害などで消防機関による十分な活動が期待できなくなるおそれがあります。

普段から近隣の自治会や自主防災組織が行う防災訓練などに積極的に参加し、地域住民と協力した連携体制を築きます。

- ・火災及び死傷事故の多発
- ・電話など通信施設の麻痺による火災の発見、通報の遅れ
- ・家屋、塀などの倒壊、交通信号の麻痺による道路の交通障害
- ・道路の亀裂による消火栓などの消防水利の使用障害

! point

- ☆大規模災害時には、事業所の建築や土木などの技術者・重機操作者や資機材の活用が救出・救護に大変有効となります。
- ☆自社の被害程度が軽く余力のある場合は、近隣自治会や避難所、あるいは従業員の家族等への援助活動も素早く実施できる体制を構築しておきましょう。
- ☆訓練以外の行事に積極的に参加することにより、顔見知りとなり災害時の連携体制が築きやすくなります。
- ・事業所ごとの実情、規模に見合った協力体制を構築しましょう。
- ・日頃から地域の防災訓練には積極的に参加し、地域の実情の把握に努めましょう。
- ・事業所間の相互協力体制についても構築しましょう。

協力先の例

- ・地域住民（自治会・町内会など） ・ 自主防災組織
- ・他事業所の自衛消防隊 ・ その他震災時に協力を得られる団体 など

2-3 災害時の消防活動等支援登録事業所への登録推進

大規模災害時には消防機関の活動に大きな制約が想定されます。

共助の体制を整えるべく湖南広域消防局と湖南防火保安協会の間で締結された、「災害時の消防活動等支援に関する協定」に基づき「災害時の消防活動等支援登録事業所」への登録に努め、人員・物資・救助資機材等の積極的な提供・支援をお願いします。

※災害時の消防活動支援登録書【例】(33 ページ参照) 詳しくはお近くの消防署または湖南防火保安教会事務局にご確認下さい。

! point

- ・ 人員、水や食料などの物資、救出や救護の資機材など、分類ごとに支援が可能かを判断します。
- ・ 現実的に支援可能な範囲での協力体制を構築します。
- ・ 支援の依頼があった場合の対応方法について準備します。

支援活動の分類									
人的支援	物的支援	物的支援の詳細					避難場所提供	特殊技能等	その他
		資機材	物資	輸送	医療	燃料			



【瓦礫の撤去を支援する重機】

支援の内容

人的支援：消火・救急・救助などに従事できる人の協力を行う

物的支援：消火・救急・救助などの活動に必要な物資、資機材の提供を行う

避難場所：一時的に避難場所を提供する

特殊技能：災害時に必要な特殊な技能を提供する

その他：上記項目に該当しないもの



【資材や瓦礫を搬送車】



【負傷者を搬送するバス】



【避難所（グラウンド）の提供】



【避難所（会議室）の提供】

消火器の使い方

(1) 黄色の安全ピンを抜く



(2) ホースを外し、ホースの先端を持って火元に向ける



※ホースの途中を持つと、放射の圧力から狙いが定まらず、的確に放射できない恐れがあります。



(3) レバーを強く握って放射する



※消火器が重い場合は、消火器を地面に置いたまま操作する方法もあります。



(4) 火の根元をねらい、手前からほうきで掃くように薬剤を放射する



※自分の身を守りつつ、効果的に放射するため、風上から放射します。室内で放射する場合は、出入り口を背にして逃げ道を確保しましょう。

Point !

放射時間は、消火器の種類や薬剤の量により異なりますが、粉末消火器で 15 秒程度、強化液消火器で 20～30 秒程度です。

放射時間や放射距離は本体に必ず表示してありますので、日頃から確認しておきましょう。

心肺蘇生法の手順（成人編）

（１）反応の確認

- ・ 肩を叩きながら大声で呼びかけ、反応を確認します。

Point !

- ⇒ 何らかの返答や目的のある動作がなければ、「反応なし」と判断します。
- ・ 痙攣は、心臓停止直後に起こることがあるので、「反応なし」としてください。

（２）助けを呼ぶ

- ・ 反応がなければ、大きな声で協力者の助けを求めます。
- ・ 協力者が来たら、「119 番通報をしてください」「AED（自動体外式除細動器）を持って来てください」と依頼します。

Point !

- 自分ひとりのときは、通報や AED の準備を行い、次の手順に進みます。

（３）呼吸の確認

- ・ 10 秒以内に、目で胸や腹の上がり下がりを見て判断します。

Point !

- ⇒ 普段どおりの呼吸をしていない場合は、「呼吸なし」と判断します。
- ・ 次の場合も呼吸なしと判断します。
 - ① 胸や腹部の動きがない
 - ② 呼吸の状態がよくわからない場合
 - ③ しゃくりあげるような途切れ途切れの呼吸（心臓停止直後にみられます）



（４）胸骨圧迫

- ・ 胸の真ん中に、片方の手の付け根を置き、他方の手を上に重ねます。
- ・ 肘は真っ直ぐ伸ばし、胸が少なくとも 5cm 沈むほど強く圧迫します。
- ・ 1 分間に少なくとも 100 回のテンポで 30 回連続して絶え間なく圧迫します。
- ・ 圧迫を緩めるときは、胸がしっかり戻るまで十分に圧迫を解除します。
- ・ 小児に対しては、両手または片手で、胸の厚さの約 1/3 が沈むほど強く圧迫します。



(5) 人工呼吸

- ・ 気道の確保
 - ① 片手を傷病者の額に
 - ② もう一方の手の人差し指と中指の2本をあごの骨にあて
 - ③ 頭を後ろにのけぞらせて（頭部後屈）、あご先を上げます（あご先挙上）。
- ・ 気道を確保したまま、額に当てた手で傷病者の鼻をつまみます。
- ・ 口を大きく開けて傷病者の口を覆い、1秒かけて、傷病者の胸が軽く上がる程度、息を吹き込みます。これを2回行います。



Point !

- ・ 人工呼吸は胸が上がらなくても、2回までとします。
- ・ 3回以上の人工呼吸や、過剰な量の吹き込みは、行わないでください。
- ・ 簡易型感染防護具（感染防止用シートあるいはポケットマスク）があるなら、できるだけ早期に使用しましょう。
- ・ 傷病者に出血がある場合や、人工呼吸がためられる場合には、人工呼吸を省略し、胸骨圧迫のみ行ってください。

(6) 心肺蘇生法

- ① 呼吸や目的のある動きが現れる。
または、
- ② 救急隊と交替する（指示があるまで続けてください）まで、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返し行います。

Point !

- ・ 救助者が2人以上いる場合は、1~2分間を目安に交代して、絶え間なく心肺蘇生法を続けてください。

参考

回復体位

- ・ 反応はないが正常な呼吸をしている場合は、右の図のように横向きにしてください。
- ・ 嘔吐による窒息や呼吸の停止に注意し、救急隊が来るのを待ってください。



AEDの使用手順（成人編）

- ・ AEDは、反応や呼吸のない傷病者に使用します。
- ・ 電源を入れると、音声メッセージとランプで手順を指示してくれますので、それに従い落ち着いて使用してください。

（１）AEDの電源を入れる

- ・ AEDが到着したら、傷病者の頭の横に置き、直ちに電源を入れます。

Point!

- ・ ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。



（２）電極パッドを貼る

- ・ 心肺蘇生法を継続しながら、傷病者の衣服を取り除き、電極パッドを台紙からはがし、図示された位置に貼ります。
- ・ 右前胸部・・・右鎖骨の下
- ・ 左側胸部・・・脇から5～8cm下



Point!

- ・ 電極パッドのケーブルをAED本体に接続する必要がある機種もあります。
- ・ 電極パッドは、肌と隙間を作らないように注意し、しっかりと貼り付けてください。
- ・ 成人用と小児用の2種類が入っている場合や、成人用モードと小児用モードの切り替えがある機種があります。小学生以上には成人用パッド（成人用モード）を使用し、未就学児（おもに6歳まで）には小児用電極パッド（小児モード）を使用してください。成人には、小児用電極パッド（小児モード）は使用しないでください。
- ・ 「パッドを貼るときの注意事項」に注意してください。

（３）心電図の解析

- ・ 電極パッドを貼り付けると、自動的に心電図の確認が行われます。
- ・ 誰かが触れていると正しく解析できないことがありますので、大きな声やジェスチャーで周囲の人に注意を促してください。



Point!

- ・ 電気ショックの適応は、心室細動など一部の心臓機能停止状態に限られますので、心臓機能停止であっても電気ショックを行わない場合があります。この場合は、心肺蘇生法を再開してください。
- ・ 心電図を解析するために、解析ボタンを押す必要のある機種もあります。

(4) 電気ショック

- ・ A E Dが電気ショックの適応と判断すると、「ショックが必要です」などの音声メッセージが流れ、充電を開始します。
- ・ 充電が完了すると、「ショックボタンを押してください」などの音声メッセージが流れ、ショックボタンが点滅します。
- ・ 誰も傷病者に触れていないことを確認し、ショックボタンを押してください。



Point!

- ・ 電気ショックが行われると、傷病者の体が一瞬けいれんしたように動く事もあります。

(5) 心肺蘇生法の再開

- ・ 電気ショックが完了すると、「胸骨圧迫を開始してください」などのメッセージが流れますので、これに従い直ちに胸骨圧迫から心肺蘇生法を再開してください。
- ・ 心肺蘇生法を再開してから2分後に、再び心電図の解析が行われます。
- ・ 以後、2分ごとに、「心電図の解析」、「電気ショック」、「心肺蘇生法の再開」の手順を繰り返します。



Point !

- ・ 呼吸や動きがみられるようになっても、電極パッドをはがさないようにしてください。
- ・ 救急隊が到着したら、傷病者が倒れたときの状況（目撃の有無）、行った応急手当の内容（心肺蘇生法）、電気ショックの回数などを伝えてください。

電極パッドを貼るときの注意事項

☞胸が濡れている場合

- ・ 電極パッドに図示された位置の水分を拭き取ってから電極パッドを貼ります。

☞貼り薬が貼られている場合

- ・ 薬をはがし、貼ってあった位置を拭き取ってから電極パッドを貼ります。

☞心臓ペースメーカーや埋め込み型除細動器が埋め込まれている場合

- ・ 皮膚が盛り上がり、下に固いものが触れることができます。
- ・ ペースメーカーを離れた位置に電極パッドを貼ります。

心肺蘇生法の手順（乳児編）

（１）反応の確認

- ・ 肩を叩きながら大声で呼びかけ、反応を確認します。
- ・ 足の裏を叩いて刺激するのも有効です。

（２）助けを呼ぶ

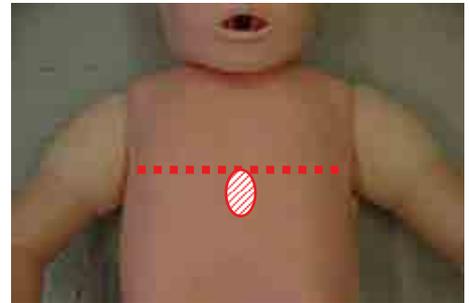
- ・ 大きな声で助けを求め、協力者に 119 番通報を依頼します。

（３）呼吸の確認

- ・ 10 秒以内に、目で胸や腹部の動きを見て判断します。

（４）胸骨圧迫

- ・ 両乳頭を結ぶ線の少し足側を目安とした胸の真ん中を、片手の指 2 本で少なくとも胸の厚さの 1/3 までしっかり圧迫する。
- ・ 1 分間に少なくとも 100 回のテンポで 30 回連続して絶え間なく圧迫します。
- ・ 圧迫を緩めるときは、胸がしっかり戻るまで十分に圧迫を解除します。



（５）人工呼吸

- ・ 準備ができしだい人工呼吸を開始します。
- ・ 自分の口で、乳児の口と鼻を覆います。
- ・ 1 秒かけて、傷病者の胸が軽く上がる程度、息を吹き込みます。これを 2 回行います。



（６）心肺蘇生法

- ・ 胸骨圧迫 30 回と人工呼吸 2 回を繰り返し行います。

（７）AEDの使用

- ・ 成人と同様に AED を使用できます。
- ①電源を入れ、音声メッセージに従い操作します。
 - ②図示された位置に電極パッドを貼ります。

Point!

- ・ 未就学児（おもに 6 歳まで）には小児用電極パッド（小児モード）を使用してください。
- ・ 小児用の電極パッド（小児モード）がなければ、成人用を代用します。ただし、電極パッドが重ならないように注意してください。



搬送法

(1) 徒手による搬送

- ・危険な場所からの移動など、緊急に移動させる必要がある場合に用います。



☛背部から1名で後方に移動させる方法

傷病者の背部から、脇の下に手を入れ、抱きかかえるようにして起こし、両手で傷病者の片方または両方の前腕をしっかり持って腰をつり上げるようにして移動させます。



☛横抱きの搬送方法

乳幼児や小柄な傷病者は、横抱きにして搬送します。



☛背負い搬送

傷病者を背負い、膝の下から腕を入れて両膝を抱え込み、傷病者の両腕を交差又は平行にさせて両手をしっかり持って搬送します。

傷病者を比較的長い距離搬送する場合に行う方法で、意識障害、骨折、内臓損傷のある傷病者には不適當です。



☛毛布、シーツを利用する搬送方法

布やシーツで全身を包み、両肩を浮かすように頭の方に引っ張って移動させます。



☛2人で傷病者の前後を抱えて搬送する方法

2人が両側から腕と背中を支えて静かに起こし、傷病者を1人は背中から抱え、他の1人は傷病者の下肢を交差させて抱えます。



☛2人で手を組んで搬送する方法

傷病者を挟んで向かい合わせに立ち、傷病者を搬送する方向側の手で相互の前腕部を握り、傷病者の大腿部の所に当て、背部側から傷病者の両脇に頭を入れて、背部側の手で自分と反対側の傷病者の脇の下を抱え、座らせた状態にして前方に搬送します。

31.496 mm



☛3人で搬送する方法

両側の膝をつき、頭側の膝を立てて折り膝とし、両腕を傷病者の下に十分に入れ、3名が同時に行動します。

(2) 担架による搬送

- ・徒手に比べ、傷病者に苦痛を与えずに搬送することができます。
- ・基本的には、足側から搬送します。

○衣服による担架の作り方



○毛布による担架の作り方



出血時の止血法

○直接圧迫止血法

- ①出血部位を確認します。
 - ②出血部位を圧迫します。
- ・きれいなハンカチやタオルを重ね、傷口に当て、その上を圧迫します。



Point !

- ・止血を行うときは、感染防止のため血液に直接触れないように、できるかぎりビニール手袋やビニール袋を使用します。
- ・大きな血管からの出血で片手だけでは止血できないときは、両手で体重をかけて圧迫します。
- ・神経や筋肉を損傷するので、止血のために細いひもや針金でしばることは、してはいけません。
- ・ガーゼなどが血液で濡れてくるのは、出血部位と圧迫位置がずれているか、圧迫する力が足りないためです。

救急協力事業所表示制度 —地域の命を守ります—

高齢社会の到来から、健康に不安を感じる市民が今後も増え続けることが予想され、地域全体で「ともに救う環境づくり」や「救命リレー」のさらなる取組みが必要です。そこで、湖南広域消防局では、救急活動環境を整備するため「救急協力事業所表示制度」を平成26年9月9日から導入し、事業所との新たな協力体制を構築して、地域防災力のさらなる維持・向上に努めています。

☞このマークのある施設は

- 1 AEDが設置されています。
- 2 普通救命講習以上を修了された方がおられます。
- 3 付近で発生した事案に対し、通報や応急手当の協力をいただきます。



【協力事業所用ステッカー】

湖南防火保安協会との災害時の消防活動等支援協定

平成18年3月1日に湖南防火保安協会との間で、湖南広域消防局が管轄する区域内で発生した火災・救急・救助活動その他の災害が発生した時の初動段階において、消防活動に対する湖南防火保安協会会員事業所の協力をいただき、少しでも災害による被害を軽減できるよう支援に関する協定を締結しました。

大規模災害等発生時、消防局から要請があった時にそれぞれの会員事業所で支援いただけることについて、予め支援登録の意思表示をいただき、湖南広域消防局への協力体制の確立を図って参ります。



【登録事業所用表示板】



災害時の消防活動等支援登録書 ー 湖南防火保安協会会員事業所用ー

災害時の消防活動等支援登録書

◎ 支援登録事業所

事業所名	湖南消防建設(株)	業種	建設業
所在地	栗東市小柿〇丁目〇〇-〇〇		
電話番号	XXX-XXX-XXXX	FAX番号	XXX-XXX-XXXX
対価の有無	<input checked="" type="radio"/> 無償協力 <input type="radio"/> 有償協力 <input type="radio"/> 状況により未定	担当者名	役職 課長 氏名 湖南太郎
メールアドレス	XXXX@XX.XX.XX		

◎ 支援活動種別

支援活動を行える時間	<input checked="" type="radio"/> 夜間・休日のみ対応する。 <input type="radio"/> 就業中のみ対応する。 <input type="radio"/> その他()
支援活動を行える場所	<input checked="" type="radio"/> 協会管内全域(草津・守山・栗東・野洲) <input type="radio"/> 所在市のみ可能 <input type="radio"/> 近隣協力のみ可能
費請求先	施設管理課 湖南二部
要請電話番号	XXX-XXX-XXXX
休日	祝日・土曜・日曜
就業時間	8:30~17:30

◎ 防災協力メニュー

人的な協力支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市消防隊員(〇〇名)活動に協力できます ・応急処置に協力できる者が(〇〇名程)います
物的な協力支援	<ul style="list-style-type: none"> ・トラックバス(〇台) ・発電機・ワイヤレス・パルナ等(〇〇個程度) ・食糧(カップ麺・おにぎり(各〇〇個程度))
避難場所の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者への一時避難場所(体育館・会議室)としての提供が可能です
特殊な技能等	<ul style="list-style-type: none"> ・重機のオペレーターがいます ・特異な機材物に対する消火理論に精通している者がいます
意見欄	<ul style="list-style-type: none"> ・御意見なり、対策すべき事項がございましたらご記入願います

湖南広域消防局管内(草津市・守山市・栗東市・野洲市)で発生した災害時の消防活動等支援については、上記項目に記載した内容で支援することを登録します。

湖南防火保安協会会長 様

平成〇〇年〇〇月〇〇日

事業所名称 湖南消防建設(株)

代表者氏名 湖南太郎 印

消防訓練実施計画書 ー自治会用ー

【この様式は見本であり各市の様式と異なります】

自治会等消防訓練実施計画書

平成××年××月××日

〇〇〇〇様

届出者 住所 栗東市小柿〇丁目〇〇-〇〇
氏名 湖 南 太 郎 印

下記のとおり、消防訓練を計画しましたので届けます。

なお、本訓練参加者以外の者が、当訓練に起因する事故により負傷等したときは、当自治会で対応します。

自治会名等	栗東市小柿〇丁目自治会		
代表者住所	栗東市小柿〇丁目〇〇-〇〇		
氏名及び連絡先	湖 南 二 郎	(TEL)	×××-××××
訓練安全責任者	栗東市小柿〇丁目※準備から後始末まですべての安全管理を行います		
訓練実施日時	平成××年××月××日	〇曜日	××時××分~××時××分
訓練実施場所	栗東市小柿〇丁目自治会館横公園		
参加人員	男 ××名	女 ××名	計 ×××名
訓練種別	消火訓練	通報訓練	防火座談会 防火映画 その他
訓練の概要	通報訓練の後、消火栓を使用し消火訓練を実施		
備考	〔受付者記入欄〕		受付印
	<input type="checkbox"/> 自主訓練	<input type="checkbox"/> 指導要 人	

消防訓練実施計画書

平成××年××月××日

湖南広域消防局

消防局長

消防署長 ○ ○ ○ ○ 様

湖南建設(株)

届出者 湖南二郎 印

次のとおり消防訓練を実施いたしたく計画しましたので届けます。

防火対象物	所在地	栗東市小柿〇丁目〇〇-〇〇
	令別表第1に掲げる区分	〇項(〇)
	名称	湖南建設(株)
	防火管理者氏名	湖南三郎
	収容人員	〇〇〇人
実施日時	平成××年××月××日 ××時××分から××時××分まで	
訓練参加予定人員	男 ××名、女 ××名、 合計 ×××名	
訓練の種類別	消火訓練、通報訓練、避難訓練	
訓練の概要	社内、総合訓練の中で、通報・避難・消火訓練を実施	
その他の必要な事項 職員の派遣の要否	職員の派遣をお願いします。	

備考

- 1 複合用途（令別表第1第16項）の防火対象物については、「名称」および「収容人員」について用途区分ごとに記入すること。
- 2 訓練の結果、人員、消防用設備等に支障があったときは、連絡すること。

関係機関連絡先

湖南広域消防局

連絡先	住所	電話	F A X
消防局	栗東市小柿三丁目1番1号	077-552-1234	077-552-5050
東消防署	野洲市辻町488	077-587-1119	077-586-2266
出張所	野洲市西河原2400	077-589-3119	077-589-5421
西消防署	草津市上笠町477番1	077-568-0119	077-568-2119
中消防署	栗東市小柿三丁目1番1号	077-552-0119	077-552-8765
出張所	栗東市御園字伝坊1926	077-558-0119	077-558-3993
南消防署	草津市野路九丁目1番46号	077-564-4951	077-564-0613
北消防署	守山市石田町377-1	077-584-2119	077-584-3699
出張所	守山市洲本町字山科1260	077-585-0119	077-585-8430

滋賀県

連絡先	住所	電話	関係部署
防災危機管理局	大津市京町四丁目1番1号	077-528-3431	消防・保安チーム
南部土木事務所	草津市草津三丁目14-75	077-567-5433	防災経理担当

滋賀県警察

連絡先	住所	電話	管轄区域
滋賀県警察本部	大津市打出浜1-10	077-522-1231	
草津警察署	草津市大路二丁目11-16	077-563-0110	草津市・栗東市
守山警察署	守山市金森町494	077-583-0110	守山市・野洲市
			交番・派出所等

市関係

連絡先	住所	電話	関係部署
草津市役所	草津市草津三丁目13-30	077-563-1234	危機管理課
守山市役所	守山市吉身二丁目5-22	077-583-2525	危機管理課
栗東市役所	栗東市安養寺一丁目13-33	077-553-1234	危機管理課
野洲市役所	野洲市小篠原2100-1	077-587-1121	生活安全課

編集にかかる協力と資料提供いただきました団体と事業所

挿 絵

- ◎ 地域コミュニティを維持するプロセス・・・内閣府ホームページより
- ◎ できることから地震対策・・・滋賀県ホームページより

写 真

- ◎ 滋賀県消防学校
- ◎ 湖南防火保安協会会員事業所
 - 【施設等】
 - ・ 中西建設 株式会社
 - ・ 積水化学工業株式会社 滋賀栗東工場
 - ・ 株式会社村田製作所 野洲事業所
- ◎ 守山市内自治会（防災訓練）